



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊豫田 忠人

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|---------|-----|--------|-----|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 108,942 | 4.8 | 18,440 | 2.7 | 19,832 | 36.2 | 15,003 | 29.4 |
| 28年12月期第3四半期 | 103,983 | 2.9 | 17,958 | 3.2 | 14,562 | 29.1 | 11,595 | 21.3 |

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 16,758百万円 (%) 28年12月期第3四半期 10,300百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 221.36 | 221.27 |
| 28年12月期第3四半期 | 169.16 | 169.10 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 260,470 | 235,920 | 90.5 |
| 28年12月期 | 258,387 | 232,917 | 90.1 |

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 235,789百万円 28年12月期 232,807百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | | 44.00 | | 76.00 | 120.00 |
| 29年12月期 | | 54.00 | | | |
| 29年12月期(予想) | | | | 55.00 | 109.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

平成28年12月期特別配当 第2四半期末29円00銭 期末61円00銭

平成29年12月期(予想)特別配当 第2四半期末39円00銭 期末40円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 144,000 | 2.3 | 22,500 | 7.1 | 24,000 | 8.2 | 17,900 | 13.1 | 264.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年12月期3Q | 69,125,962 株 | 28年12月期 | 69,927,562 株 |
| 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | 1,526,276 株 | 28年12月期 | 1,558,170 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 29年12月期3Q | 67,779,220 株 | 28年12月期3Q | 68,547,279 株 |

(注)平成29年12月期3Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数76,200株及び116,386株)を含めており、平成28年12月期の自己株式数には、従業員持株ESOP信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数98,700株及び119,600株)を含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | P. 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | P. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | P. 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | P. 7 |
| (追加情報) | P. 7 |
| (セグメント情報) | P. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年9月30日)における世界経済は、全体として堅調に推移しました。米国経済は、ハリケーンが個人消費や投資に一時的に影響したものの、総じて好調を持続しました。欧州経済は、個人消費の好調を背景に景気の拡大が続きました。我が国経済は、雇用環境の改善に伴う個人消費の拡大により成長が続きました。新興国経済については、中国経済は緩やかな調整局面が続く、全体としても低成長が継続しました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、全般に堅調な需要が継続しました。民生・業務機器市場は、安定的な需要が続きましたが、一部の用途で市場縮小が継続しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比1.2%の増加、金額では前年同期比4.8%の増加となりました。また、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間販売計画に対しては、数量で1.0%の減少、金額で0.7%の増加となりました。これらの結果、当第3四半期売上高は、1,089億4千2百万円(前年同期比4.8%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は、1,089億3千4百万円(前年同期比4.8%増)となっております。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の増加やメキシコ工場の量産開始などによるコスト増加といった減益要因はあったものの、販売数量の増加、プロダクトミックスの改善、及び前年同期比で為替レートが円安で推移したことなどの増益要因がこれを上回り184億4千万円(前年同期比2.7%増)となりました。経常利益は前年同期比で為替差損が減少し198億3千2百万円(前年同期比36.2%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は203億7千3百万円(前年同期比39.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は150億3百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は、777億2千4百万円(前年同期比6.1%増)と増加しました。重点強化事業である中型電装用途では、パワーウインドウ用は中国市場での在庫調整により販売は横ばいとなりました。一方、パーキングブレーキ、エンジン周辺機器、シートベルトプリテンショナー及びドアクローザー用は、販売が拡大しました。小型電装用途ではドアロック及びミラー用が装備率上昇及びシェアアップにより増加、ヘッドライト用は、搭載車種の拡大及びシェアアップにより増加するなど販売が拡大しました。

② 民生・業務機器市場

売上高は、312億9百万円(前年同期比1.5%増)と増加しました。インクジェットプリンター及びカーCDプレーヤー用における市場縮小が続きましたが、理美容関連及び工具用の販売が堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して20億8千3百万円増加し、2,604億7千万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、たな卸資産の増加37億6千9百万円、有価証券の増加14億4千9百万円、設備投資に伴う有形固定資産の増加56億9千9百万円、配当及び自己株式取得による現金及び預金の減少65億8千3百万円、受取手形及び売掛金の減少12億9千5百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して9億1千9百万円減少し、245億5千万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の減少6億1千8百万円、その他の流動負債の減少6億4千4百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して30億2百万円増加し、2,359億2千万円となりました。主に、利益剰余金が22億7千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

先進国においては、米国経済は、引き続き好調が続くものと見込まれます。欧州経済は、英国経済の先行きに不透明感はあるものの、全体としては成長が持続するものと見込まれます。我が国経済は、継続して緩やかな成長が見込まれます。新興国経済は、中国経済は調整局面が続く、その他の新興国は総じて緩やかな回復傾向にあるものの、全体としては低成長が継続するものと予測されます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場が引き続き緩やかな成長を維持し、民生・業務機器市場では、家電機器及び工具の需要は横ばい、個人向けの精密・事務機器及び音響・映像機器は減少、法人向けの精密・事務機器は横ばいで推移すると予想しております。このような状況から、年間の連結業績予想については、売上高1,440億円(前期比2.3%増)、営業利益225億円(前期比7.1%減)、経常利益240億円(前期比8.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益179億円(前期比13.1%減)と予想しており、直近(平成29年8月10日)に公表いたしました業績予想から変更は行っておりません。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 122,477 | 115,894 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,348 | 27,052 |
| 有価証券 | 499 | 1,949 |
| 商品及び製品 | 18,631 | 20,226 |
| 仕掛品 | 1,296 | 1,444 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,765 | 8,792 |
| 繰延税金資産 | 1,667 | 1,555 |
| その他 | 5,292 | 3,887 |
| 貸倒引当金 | △102 | △155 |
| 流動資産合計 | 184,878 | 180,648 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 46,131 | 45,985 |
| 減価償却累計額 | △26,675 | △26,990 |
| 建物及び構築物 (純額) | 19,456 | 18,995 |
| 機械装置及び運搬具 | 49,387 | 53,037 |
| 減価償却累計額 | △24,054 | △26,590 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 25,332 | 26,446 |
| 工具、器具及び備品 | 16,281 | 17,150 |
| 減価償却累計額 | △11,900 | △12,913 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 4,381 | 4,236 |
| 土地 | 6,197 | 6,685 |
| 建設仮勘定 | 4,966 | 9,672 |
| 有形固定資産合計 | 60,336 | 66,036 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 1,163 | 1,050 |
| 投資有価証券 | 10,504 | 11,220 |
| 繰延税金資産 | 488 | 518 |
| その他 | 1,112 | 1,093 |
| 貸倒引当金 | △95 | △96 |
| 投資その他の資産合計 | 12,009 | 12,735 |
| 固定資産合計 | 73,509 | 79,822 |
| 資産合計 | 258,387 | 260,470 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,340 | 6,722 |
| 短期借入金 | 113 | 113 |
| 未払法人税等 | 2,462 | 1,988 |
| 賞与引当金 | 252 | 769 |
| 役員賞与引当金 | 145 | 91 |
| 繰延税金負債 | 65 | 95 |
| その他 | 9,556 | 8,911 |
| 流動負債合計 | 19,935 | 18,692 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 56 | — |
| 株式等給付引当金 | 77 | 112 |
| 退職給付に係る負債 | 2,620 | 2,632 |
| 資産除去債務 | 13 | 13 |
| 繰延税金負債 | 2,476 | 2,807 |
| その他 | 289 | 291 |
| 固定負債合計 | 5,534 | 5,858 |
| 負債合計 | 25,470 | 24,550 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,704 | 20,704 |
| 資本剰余金 | 20,579 | 20,419 |
| 利益剰余金 | 193,141 | 195,413 |
| 自己株式 | △6,633 | △7,517 |
| 株主資本合計 | 227,792 | 229,020 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,708 | 3,584 |
| 繰延ヘッジ損益 | △472 | △65 |
| 為替換算調整勘定 | 4,222 | 4,585 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,443 | △1,334 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,014 | 6,769 |
| 新株予約権 | 110 | 130 |
| 純資産合計 | 232,917 | 235,920 |
| 負債純資産合計 | 258,387 | 260,470 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 103,983 | 108,942 |
| 売上原価 | 69,619 | 73,729 |
| 売上総利益 | 34,364 | 35,213 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,405 | 16,773 |
| 営業利益 | 17,958 | 18,440 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 261 | 271 |
| 受取配当金 | 114 | 131 |
| 為替差益 | — | 322 |
| スクラップ材料売却収入 | 543 | 760 |
| その他 | 274 | 252 |
| 営業外収益合計 | 1,193 | 1,738 |
| 営業外費用 | | |
| 株式関係費 | 47 | 45 |
| 為替差損 | 4,376 | — |
| 控除対象外消費税等 | 48 | 71 |
| その他 | 117 | 227 |
| 営業外費用合計 | 4,590 | 345 |
| 経常利益 | 14,562 | 19,832 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産処分益 | 8 | 692 |
| 投資有価証券売却益 | 570 | — |
| 特別利益合計 | 578 | 692 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 116 | 152 |
| 投資有価証券売却損 | 137 | — |
| 減損損失 | 90 | — |
| 構造改革費用 | 134 | — |
| 特別損失合計 | 479 | 152 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 14,661 | 20,373 |
| 法人税等 | 3,065 | 5,369 |
| 四半期純利益 | 11,595 | 15,003 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 11,595 | 15,003 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 11,595 | 15,003 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △810 | 875 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | 406 |
| 為替換算調整勘定 | △21,207 | 363 |
| 退職給付に係る調整額 | 116 | 108 |
| その他の包括利益合計 | △21,895 | 1,754 |
| 四半期包括利益 | △10,300 | 16,758 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △10,300 | 16,758 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、平成29年2月14日開催の取締役会決議において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。これにより当第3四半期連結累計期間において、次のとおり自己株式の取得及び消却を実施いたしました。

1. 自己株式の取得

(1) 取得対象株式の種類

当社普通株式

(2) 取得した株式の総数

801,600株

(3) 株式の取得価額の総額

4,999百万円

(4) 取得期間

平成29年2月16日から平成29年3月24日まで

(5) 取得方法

投資一任方式による市場買付

2. 自己株式の消却

(1) 消却する株式の種類

当社普通株式

(2) 消却した株式の数

801,600株

(3) 消却した株式の総額

4,009百万円

これにより利益剰余金及び自己株式がそれぞれ同額減少しております。

(4) 消却実施日

平成29年4月14日

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、マブチモーターポーランドエスパーゾーを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | アジア | アメリカ | ヨーロッパ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,715 | 59,351 | 13,120 | 22,795 | 103,983 | — | 103,983 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 67,212 | 57,154 | — | — | 124,367 | △124,367 | — |
| 計 | 75,927 | 116,506 | 13,120 | 22,795 | 228,350 | △124,367 | 103,983 |
| セグメント利益 | 6,382 | 10,451 | 148 | 864 | 17,847 | 111 | 17,958 |

(注) 1. セグメント利益の調整額111百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | アジア | アメリカ | ヨーロッパ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,103 | 59,593 | 13,917 | 26,328 | 108,942 | — | 108,942 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 68,224 | 58,217 | 15 | — | 126,458 | △126,458 | — |
| 計 | 77,328 | 117,811 | 13,932 | 26,328 | 235,401 | △126,458 | 108,942 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 8,165 | 9,968 | △292 | 895 | 18,738 | △298 | 18,440 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△298百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。